



平成30年 7月 6日

2018年（第29回）福岡アジア文化賞大賞受賞

賈樟柯（ジャ・ジャンクー）氏講演会【学校訪問】

福岡は、古くから日本の窓口として、アジア諸地域との交流において重要な役割を担ってきました。福岡アジア文化賞は、その特性を踏まえて、アジア地域の優れた文化の振興と相互理解および平和に貢献するため、1990年に市、学会、民間が一体となって創設されました。

今年の大賞受賞者は、中国の映画監督・賈樟柯氏に決定しました。

毎年9月の授賞式にあわせて、市民フォーラムや学校訪問を行っています。

学校訪問は、講演等を通じて、生徒や学生が直接アジアの優れた学術や芸術・文化に触れ、異なる文化や歴史、生き方を学び、視野を広げる機会になることを目的としています。

賈氏の学校訪問を下記のとおり実施します。映画や映像にご興味のある学生のみなさまのご参加をお待ちしています。

記

- 日時 平成30年 9月21日（金）10:40～12:10
- 会場 九州産業大学（福岡市東区松香台2丁目3番1号）15102教室（15号館 2階）
- 内容 賈樟柯氏の講演（映画上映はありません。）
*映画上映等は別途行います。日程等は下記をご覧ください。
- 入場料 無料
- 対象 大学・専門学校等の学生
- 申込方法 福岡アジア文化賞委員会に、①事業名「ジャ・ジャンクー氏講演会」、②学校名、③氏名、④電話番号をメール（acprizefukuoka@gmail.com）またはFAX（092-735-4130）で、平成30年9月14日（金）までにお知らせください。
*当日は、学生証をご提示ください。
- 主催 福岡アジア文化賞委員会（福岡市・（公財）福岡よかトピア国際交流財団）

★賈樟柯（ジャ・ジャンクー）氏

1970年5月、中国山西省生まれ。

21世紀の中国を代表する映画監督。

故郷の山西省をはじめとする地方の都市を舞台に据え、急激な経済発展がもたらした社会的歪みの中で苦悩しながらもしたたかに生きる市井の人々、とりわけ若者たちが抱える閉塞感や希望を等身大に描いた数々の作品で、中国のみならず世界的に高く評価されています。

主な作品：『一瞬の夢』『プラットホーム』『青の稲妻』『長江哀歌』『山河ノスタルジア』

★賈樟柯監督作品を上映します

『プラットホーム』『青の稲妻』

9月1日（土）・2日（日）

@福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ

事前申込不要。入場料200円。

上映時間等詳しくは、福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ（TEL:092-852-0600）まで。

『山河ノスタルジア』 【市民フォーラム】

9月19日（水）18:30～ 賈監督のトークあり

@ユナイテッドシネマ キャナルシティ13

要事前申込（締切9月10日(月)）。入場無料。

定員375人。

申し込みは、TEL:0120-716-710または

<http://fukuoka-prize.org/contact/apply/>まで。

《問い合わせ》福岡アジア文化賞委員会事務局 担当：村上
福岡市中央区天神1-8-1 福岡市総務企画局国際部内
<TEL:092-711-4930> <http://fukuoka-prize.org/>